

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 2 号 (4 月 9 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2第一節山南戦 神風ドロー

4 月 6 日 (土)、入学式前に早くも Y 2 A¹第一節山形南戦が行われました。Y 2 A といっても、他の試合は翌週から始まるので、やはり早い開幕。当初、日程を決める際には、「開幕が早くても問題ない。試験日程とリーグ戦がかぶり勉強に支障があるよりは良い」と考えておりましたが、4 月第一週の開幕はきついものがある。なぜって、**春季の県外遠征から帰って間もなくなので、コンディションが整わない**。遠征先で、試合+ランニング+試合・・・などなどのトレーニングで追い込み、しばらくおいて開幕だとありがたいですし、間が空くと遠征先で故障を抱えても何とか対応できる。今年は、遠征先で故障者に無理させないように考慮したり、全員に対して疲労がたまり過ぎないように苦慮したりと、例年のように遠征先でサッカーに集中することができないでいました。

そんなこんな、まず弱音/戯言から始めましたが、**置かれている状況は相手も一緒**。山南には、昨年 11 月の進学校大会 (山交杯) にて一年生相手に敗北を喫している。「あの頃のオレはクソ弱かった」とはある選手の発言ですが、今は違うところを見せられるか。鹿島・千葉遠征で、**伝統の《スキルの差をスコアの差にしない粘り強いサッカー》**を体感でき、一定の手応えをもってこの試合を迎える。場所は、聖地NDサッカー場 (もちろんNDとはNDソトではなく日大山形です)。天候は全国的に大荒れの予報ではありましたが、無風・晴天の絶好のサッカー日和。ベンチには清野OB会会長、ピッチサイドには後藤報道局長が鎮座し、公式戦の雰囲気醸し出される。山東サイドの応援席には、山形南の軽く 5 倍はいるかという保護者の皆さまが駆けつけて下さる。合わせて、平成 24 年 3 月卒のタダの代のマオマネと〇ーツキおよびその弟も姿を見せる。弟はこの春山南に入学するそうで、敵情視察/自チーム見学か²。さて山東イレブン、多くの方のご声援に応える戦いができるか。

前半すぐさま山南ペース。山南はDF 4 名ともアプローチ (ボールへの寄せ)、競り合いが素晴らしく、攻撃に入っても力強くボールを保持する。MF 勢もしっかりヘディングで落下地点に入っており、ルーズボールを拾いまくる。そして、FW が山東DF の前に顔を出すのに合わせてビシッと縦パスを入れ、FW が落としたボールを 3 人目の動きで走り出す選手にまたスルーパスといった形で、波状攻撃を仕掛ける。**山南、強し!** 対する山東は、へ

¹ Y 2 A とは、山形県リーグ=Yリーグの 2 部の A ブロックという意味です。Y 1 は 1 ブロック制ですが、Y 2 は 2 ブロック制、Y 3 は 3 ブロック制です。

² かなり似ておりますので、気になる方は山形東サッカーOB会HP上でご覧下さい。弟は、ゴールキーピングだけでなく、後ろからのコーチングが素晴らしく、ピンチを未然に防ぐGKです。兄の声掛けが、自己陶醉型のドラマ仕立てになっていたのとは異なり、実践的なコーチングと言えましょう。山南に人材が「流出」してしまいました・・・残念! 弟君よ、山東を苦しめない程度に頑張ってくれ。

ディングで落下地点に入れないわ、ファーストディフェンダーが誰かあいまいで、フラフラと2・3人で当たりに行ったかと思うとその間（ギャップ）にパスを通され、どフリーの状態3で山南選手にドリブルされるわ、DFのクリアがショートする+中に入れてしまうわ3で、滅茶苦茶。GKの好セーブなのかどうかわかりませんが、もう詰めるだけ、という山南の至近距離からのシュートがGKの真ん中に収まったり、ゴールマウスを外れたり4と、山南のフィニッシュ精度の悪さに助けられる前半。山東はボールを奪っても、テンポの良いパス回しではなく、ボールを持ってからヨッコラショと次のプレーを考えるだけで、容易に山南のディフェンスに寄せを許し、狙いの分からない縦パスや、ボールをもらう味方が苦しいだけの横パスやバックパスでただ逃げるだけ。ボールの出し手（パサー）の問題だけでなく、ボールの受け手（レシーバー）も上下動が欠けているためマークを外せておらず、ボールをもらってもガッツリとプレッシャーを受けてしまい、ボールロストすることが多い。**楽観はしてありませんでしたが、ここまで差が出るとは思いませんでした。**そんな出来の前半。しかし、なぜか0対0で折り返すのだから、ロースコアのスポーツ、サッカーは奥が深いというべきか。

後半になると、西に向かって攻める山東の背後から、強い風が吹き始める。前半開始の頃は無風だっただけに、この試合に大きな影響を与える予感がする。風上となったからか、山南のペースが落ちたからか分かりませんが、後半は一進一退。時間を追うごとに山東ペースといったところか。**まさに山東にとって神風が吹いた状況。**山東にも決定的シーンがありましたが、決め切ることができず、結局**スコアレスドロー**。一試合トータルで考えて、山東からすれば「あの試合でよく引き分けで終わったな〜。もうけものをしたな〜」という試合でしたし、山南からすれば「なんでこの試合勝ち切れなかったの？」と自問せざるを得ない試合だったでしょう。ただ、**90分走り抜く体力では、山東が上回ったのではないでしょう**か。しかし、上回ったのがそこだけとは、かなり心許ない。**リーグ戦の前期優勝を狙っている山東**4としては、こんな出来ではいけない、と強く反省させられた第一節となりました。

今週末は第二節です。変わらぬご声援よろしく申し上げます。

Y2A第二節 VS 日大山形B @山形中央サッカー場 14:00~

注意！ 当初日大山形の予定でしたが、山形中央に場所の変更がありましたので、お間違えないように。

3 クリアは、大きく、（相手選手が比較のおらずゴールから遠ざかる）外へ、というのは、小学生でも習うサッカーのイロハ。

4 今年前半の目標は、リーグ戦の前期優勝と県総体優勝です。かりに、県総体優勝を逃しても、3年生は6月末の第7節まで（リーグ前期終了時まで）残るはず！です。弱気な目標ですが、現在の実力を考えると、現実的な目標かと思います・・・。